

「シンデレラ・ティース」

坂木 司／著

光文社 2006年9月発行

2階一般開架図書 (請求記号：F//サカキ)

みなさん、歯医者さんはお好きですか？

好きだという人は少ないかもしれません。この小説の主人公も、実は歯医者さんが大嫌いなのですが、なぜか夏休み中に歯医者さんでアルバイトすることになってしまいます。こんな歯医者さんがあるのならちょっと行ってみたいかも、と思うような一風変わった歯医者さん。この主人公も、アルバイトしているうちにしだいに歯医者さんに対する見方が変わって行って…

引きこもり探偵シリーズの坂木司が描く、歯にまつわる謎解きの散りばめられた青春小説です。

「ととまじり 文壇片隅四十年」

田岡 典夫／著

平凡社 1981年2月発行

2階郷土開架図書 (請求記号：K910-タオ)

必要以上にせわしい現実生活の反動からか、近頃は呑気な浮世離れのした本にばかり手がのびる。本県出身の直木賞作家田岡典夫さんが自身の文学人生を振り返る本書も、そんな浮世離れ本の一つ。タイトルの『ととまじり』は、我が身を大魚の中の雑魚になぞらえた、田岡さんならではの命名なのだが、文壇の大物から友人、後輩に至るまで、多くの文人・文化人と田岡さんとの交流が描かれる。また戦前の高知に関わるエピソードも数多く登場するが、それらを描く田岡さんの穏やかな筆致は、かつての高知の風景とそこに生きた人たちを、読み手に懐かしく思わせてしまう不思議な魅力に満ちている。